2019 年 9 月

２０１９年度 海外研修（春期）
語学・文化研修 アメリカプログラム 募集要項

1. 目 的

このプログラムは、同志社立学の精神を生かし、本学の国際交流事業の一環として実施するもので、急速に進む国際化時代をふまえ学生諸姉の英語の理解力と表現力を高めると共に、現地での生活を通して、両国相互の社会、文化、習慣等に対する理解を持つ国際感覚豊かな人材の育成を目的としています。

2. 研修場所

研修先大学は以下の2校から各参加者が選択します。第1回事前授業にて、各大学の概要を説明します。その後、研修先大学を国際課に申請します。

① Concordia University (Portland, Oregon)

コンコーディア大学(ELS ポートランド校)

1905年に、ルーテル教会ミズーリ・シノッドにより設立された私立のリベラルアーツ大学で、全米10大学が組織するコンコーディア大学制度の1校です。学生数は約1,200人。大学からポートランドのダウンタウンまでは、バスで25分程度の郊外に位置します。

ポートランド

ポートランドは、オレゴン州北西部に位置する同州最大の都市で、州の経済、金融の中枢です。人口は約60万人。自然に囲まれた環境にあるため、アウトドアスポーツが活発です。公共交通機関も充実しており、とても便利です。また、州税（消費税）がなく、物価が安いのも特徴です。

② Dominican University of California (San Rafael, California)

ドミニカン大学カリフォルニア校(ELS サンフランシスコ・ノースベイ校)

1890年に、ドミニコ会修道女サン・ラファエルにより設立された私立の総合大学です。学生数は約1,900人。大学からサン・ラファエルのダウンタウンへは徒歩15分程度で、ゴールデン・ゲート・ブリッジから北に約20kmの郊外に位置します。

サン・ラファエル

サン・ラファエルは、カリフォルニア州北西部に位置する自然に恵まれた郊外の町です。人口は6万人弱。マリンカウンティーの中では最も大きく、マリンカウンティ・シビックセンターのほか、複数の州立公園などがあり、雄大な自然を楽しむこともできます。サンフランシスコへは車で30分程度です。

3. 研修期間　2020年 2月9日（日）～3月7日（土）［28日間］. ※現地日程

※本プログラムは、現地集合・現地解散により行います。

※現地にはプログラム開始日の前日に到着し、日本への帰国は3月11日（水）（日本到着）までとします。

4. 研修内容

このプログラムは、共通学芸科目「海外事情（アメリカ）」の一環として行われます。参加者には秋学期の事前授業、現地での研修および事後レポートに基づいた総合評価により、4単位が認定されます。履修登録は参加者決定後に教務課が行いますので、WEB 履修登録時に「海外事情（アメリカ）」を登録する必要はありません。

a. 秋学期授業

研修に先立ち、秋学期に授業を3回行います。授業には、渡航に係る諸手続きの説明も含みます。また帰国後に、与えられた課題についての事後レポートの提出が必要です。事後レポートの提出がない場合、単位は認定されません。

事前授業日（予定）は以下の通りです。

1回目：11月6日（水）5限　京田辺キャンパス

2回目：12月11日（水）5限～6限　京田辺キャンパス

3回目：2020年1月15日（水）5限～6限　今出川キャンパス

b－1. 英語研修

コンコーディア大学もしくはドミニカン大学カリフォルニア校内の英語研修機関（ELSランゲージセンター　http://www.els.edu/）において、4週間の集中英語研修を受講します。この現地プログラムは、主としてアメリカの大学への学位留学を目指す留学生を対象に開講されているもので、世界の様々な国・地域からの留学生が参加しています。アメリカプログラムでは、その1タームを受講します。英語力に応じた12段階のクラスが設けられています。

b－2. 滞在方法

ホームステイ（週 14 食付）

5. 参加費用

個人負担額　325，000 円～ 385，000 円（予定）

※参加費用は、研修先大学およびコースにより異なります。

※為替レートの変動、プログラムの変更などによって費用が変更される場合があります。

※本学から全員に補助費（10～12万円程度）を支給します（なお、上記金額は補助金を差し引いた金額です）。

※本プログラムは、現地集合・現地解散による実施のため、他の海外研修プログラムと異なり、往復航空運賃は含まれません。航空券は各自で手配します。

○ 含まれるもの：現地研修費、滞在費、食費、海外旅行傷害保険料、海外アシスタンスサービス会員費

× 含まれないもの：往復航空運賃、現地でのアクティビティ費用、通学費、米国学生ビザ申請料、SEVIS 費用、現地空港から研修先大学までの送迎費

申込金3万円は10月下旬、残金は1月下旬に必要です。

6. 応募資格　全学部・学科生　※卒業年次生を除く
次のいずれかの資格を有すること（取得年月は問わない）
1. TOEIC　450点以上
2. TOEFL　450点（PBT・ITP）または45点（iBT）以上
3. 実用英語技能検定　2級以上
4. IELTS　5.0点以上
5. 国連英検　C級以上
6. 上記に準じる英語力を証明するものとして、国際部長が認めた資格

※応募の際に英語資格証明書（コピー可）の添付が必要です。
※TOEFL-iBT と IELTS については、出願期間最終日の1か月前までに受験した場合で、成績表原本が未着の場合は、ETS ウェブ「My Home Page」または「オンライン試験結果表示サービス」の画面コピーを提出してください。ただし、原本を入手後、速やかに国際課に提出すること。

7. 募集人数　25名　（最少催行人数1名）

8. 募集期間　2019年 10月 1日（火）～10月14日（月） 18:30まで

9. 応募書類　①2019年度海外研修（春期）プログラム 申込書
②2019年度海外研修（春期）語学・文化研修 課題作文
③英語資格証明書（コピー可）

10. 応募方法　上記応募書類を期日までに国際課に提出してください。

11. 選考方法　申込書、課題作文および面接（原則として、グループ形式）により、参加の動機、意欲、目標などを確認のうえ選考を行います。

12. 面 接 日　2019年 10月19日（土）
※アメリカプログラムの応募者数が、第1～第4希望を含めて募集定員に満たない場合は、第1希望の学生の参加が確定するため、選考面接は行いません。募集定員を上回る場合は、選考面接を実施します。
※選考面接実施の有無、実施する場合の時間および場所の詳細は、掲示にてお知らせします。

インテンシブ英語プログラムの時間割（例）

1週目	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
AM	ご到着日	入学手続き & プレイスメントテスト	Structure & Speaking Practice				フリータイム
AM			Structure & Speaking Practice				
AM			Language Technology Center (LTC)				
AM			Vocabulary Enrichment				
Lunch		Lunch Break					
PM		オリエンテーション& キャンパスツアー	Reading & Writing			自習時間	
PM			Reading & Writing				

2～4週目	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
AM	フリータイム	Structure & Speaking Practice					フリータイム
AM		Structure & Speaking Practice					
AM		Language Technology Center (LTC)					
AM		Vocabulary Enrichment					
Lunch		Lunch Break					
PM		Reading & Writing				自習時間	
PM		Reading & Writing					

※クラスのレベルにより、授業内容や時間割は異なります。

Structure/Speaking Practice (SSP)
正しい文法を使って会話する力を身につけるための文法と Speaking の授業です。

Vocabulary Building
新しい語彙を暗記するのではなく、レベルごとに設定された Vocabulary 数を習得し、実践で活用できるよう体系的に強化します。

Language Technology Center (LTC)
テクノロジーを応用した学習を通じて各自の英語スキルを補強し、目的を達成します。

Reading & Writing
Reading では、文章を読むスピードを速め、同時に読解力を上げることを目的とした授業です。Writing は、正しい文法・語彙を使って英語の文章を書くスキルを学び、自分の意見を英文で論理的に表現する方法を習得する授業です。授業は Reading と Writing を一緒に学習します。

週末には、オプション・アクティビティに参加することができます（別途費用が必要）。数多くのスチューデント・アクティビティが企画されており、アクティビティを通して、楽しみながら英語を学習し、現地の学生や現地で学ぶ外国人留学生と出会うチャンスです。

問い合わせ先：国際課